

松戸市病院事業再編計画（案）住民説明会議事録④

日時：令和3年11月21日（日）10：00～11：30

場所：東部小学校体育館

出席者：紙敷地区地域住民 30 人

健康福祉部 笹川部長、大淵審議監、石原地域医療課長

病院事業 白井管理局長、林病院政策課長、池田東松戸病院総務課長

1. 職員自己紹介
2. 挨拶
(略)
3. 松戸市病院事業再編計画（案）概要について説明
(略)
4. 質疑応答

地域医療課長

これより質疑に移ります。今までの説明内容について、ご質問のある方やご確認をしたい方がいらっしゃいましたら、挙手の方お願いいたします。また差し支えなければ、町会名をお願いいたします。

質問者 A

今日はいろんな説明がありましたが、この廃止の問題っていうのは何年前から検討されてきたのですか。さっき、審議会の方で提案して話し合われているというお話ですが。それから、なんで病院のこの閉鎖についてですね。それから、東松戸病院の広報、宣伝について。これもひとつお願いします。それから、病院は誰のためにあるのか。もう一つは新聞に出ましたよね、朝日新聞に。その新聞の経路、どこから出たのか。あなたがたがお話したのか、それとも向こうが情報を手に入れたのか、その辺を伺いたい。それから、東松戸駅の近くの土地は病院を建

てるために買ったという噂がありましたけど、この点について具体的に説明をお願いしたいです。買ったのか買わなかったのか。また売ったのか。それで私も思うのですが、あそこを国から買ったときは結核の療養所、それから市川は国府台病院、それと柏のがんセンター、あれを閉院する噂があった。国もこっちもそうだったらしい。それでこれはもう松戸も市川もみんな住民が一緒になって署名を取って。松戸も開始。それが市川の国府台病院開始。それで市川の公立病院なんて本当に止まっている。市川の国府台病院なんかもう立派な病院作っていますね。それが松戸だけ新しくできちゃったとか。新しい病院ね。だから今度は古いやつはいらないと。それで借金返しに、東松戸病院は売買して、それでその補填にするのではないか、というそういう噂があります。その説明を具体的にお願いしたい。それで正直申し上げてね、私は28年間、東松戸病院に通院しています。今も行っています。やはり心の通ったお医者さん、あるいは看護師さんが働いている田舎なのですね。丁寧に本当によく患者を扱ってくれる。それを廃止することですか。本当にね、心から残念だなと思っている。だから少なくともそのさっきのこの写真とかをみると、老朽化していますよ。それを直して患者を迎え入れるということはないのか、ただ廃止しちゃってあとは売っちゃって新しく作った病院への補填、それと今検討されている市の庁舎、それにあてるのではないかっていう。そういう噂も聞きますよ。そんな話を聞くと、決して廃止は許せないと思う。やはり大いに宣伝していただいて、それで少なくとも公立の病院としてやっぱり、東松戸病院を建て直してほしい。それではすみませんがお聞きしますけれども、前に並んでいる方、松戸市に住んでいる方、何人いらっしゃいますか。手を挙げてください。松戸市に住んでいる方、意外と多いですね。が、やはりここからがお世話になる形になろうかと。これはねぜひ皆さんの協力を受けながら市議会と協力していただいて継続するための方法をお考えいただきたい。私はそう思います。私も業者の組合の役員をやっているとして、全国の会議に出ましたよ。そこで自己紹介させられます。私は松戸市に住んでいると言います。「すごいじゃないの。あその松戸市は全国的に1番進んでいる町だよ。すぐやる課があるから。」こういう問題って、やっぱ全国的に知られているのですよ。それを今になって、古くなってもう病院売っちゃって廃止してそれで小さな医院に通わせるの。手続きして。こちら、私も87歳になりましたから、足だっていないわけ

だよ。少なくとも新しく悪いところ直してして継続して欲しいというふうに思っております。

審議監

1つずつ順次ご説明をさせていただきます。まずこの廃止の話がいつからというご質問でございますが、こちらの方につきましては、以前29年の7月に松戸市病院運営審議会というものを立ち上げさせていただきました。この審議会は29年4月に設置されまして、それから7回ほどに渡り、この東松戸を含めた病院事業につきましてのご審議をしていただいたところでございます。その間に、総合医療センターの方をまずは中心にということになりまして、一度そちらに議論を集中するために、東松戸病院については一時ストップしましょう、審議を止めましょう、ということになりました。その後総合医療センターの目途がついたということで、再度東松戸病院の運営についてということでのご審議をお願いしたところでございます。それがありまして、平成30年の9月に東松戸病院の運営改善を元年度の決算等を含めた上で判断するようという答申をいただきました。そこからいろいろな討論を重ねた中で、今年の3月から6月の間でこの計画案の作成に取り掛かったところでございます。その中で廃止する方針を出させていただいたという経過がございます。市としての方針といたしましては、今回この案を出させていただいたのは、今年度になってから方針を作らせていただいたという形になります。それから、新聞に報道されてしまったということでございますが、こちらにつきましては市の方から皆様にご説明する前に報道関係の方に流したということにはございません。こちらもこのような形でマスコミのほうに情報が流れてしまったということは、大変遺憾でございまして、この辺につきましては今後も情報管理というものを徹底していくということでご了承いただきたいと思います。それから、東松戸駅近くに病院用地として土地を買ったという経緯でございますが、こちらはございません。当初東松戸駅近くに旧市立病院を移すという計画もございました。ただし、これは市長が代わったことによりまして、移さないことになり、今はその土地につきましては売却したということでございます。

病院政策課長

ご質問の中で、東松戸病院についてどういった広報をしてきたかということですが、広報まつどには総合医療センターを含めて掲載をあまりしておりません。ただ病院事業で出している広報誌がございます。ペアレーターという広報誌がありまして、その中で東松戸病院等を取り上げさせていただきました。というのも、広報まつどに載せるというのは医療法の広告規制に抵触する恐れがあるので、今は特に控えておりまして、客観的な事実のみの掲載に留めさせていただいております。そして私ども、コロナで中断しておりますが、各町会・自治体の方から要望があればパートナー講座を、私が課長になってから、40回ぐらいやってまいりました。梨香台の東部市民センター等でもやらせていただきましたし、市内で要望があればできる限りその場に出向きまして、その時に東松戸病院のパンフレットもお配りさせていただいて、東松戸病院の提供している医療についても、その都度私どもから紹介をさせていただいたところでございます。

東松戸病院の土地の売却代金は借金の返済に…ということですが、これは今回の再編計画の中で東松戸病院が仮にこのまま廃止となった場合に、土地の売却代金について、病院運営審議会の方針の中に「売却代金については、市民の医療に使うてほしい」というご意見もいただきました。そういったことを踏まえまして、総合医療センターに緩和ケアを移管するための新たな病院の別棟を建てまして、そちらに売却代金を使わせていただくということで、計画案という形でお示しさせていただきました。

質問者 A

病院は誰のためにあるのか。これを具体的に教えてください。誰のためにあるのか、利益のためにあるのか、市民のためにあるのか。その辺、いかがでしょうか？

病院政策課長

病院は誰のためにあるということについてですけれども、「医療を求める患者さんのためにある」と、このように病院事業ではとらえております。

質問者 A

さっきの新聞の問題、やっぱり全国の会議に参加しているとね、要するに、裏から下に流してあげて広報させといて市民がどういった反応を示すかということが、多々あるらしいですよ。またその手をつかったのかなと私は感じた。正直、市民の反応見るために先に投げておいて、それで、みんなが反応するから、それを市の方で知りたかったのではないかな。全国的にやっぱりあるの、そういう経験が。だから質問しました。

審議監

松戸市といたしましてはそういうことはしておりません。はっきり言わせていただきます。どこから出たっていうのは分からないのは確かでございますが、このような形で説明会ないしは議会のほうにご説明させていただく前に新聞等使ってそのようなことをして、どのような反応になるのかというようなことを探ってから…といったことは一切しておりません。はっきり言わせていただきます。

質問者 A

こういう話は千葉県じゃないよ、別の県の新聞社が定年退職して、実はそういうことやっているって話を聞いているんですよ。だから松戸市も同じようなことやって裏から手をまわして、反応をみようよ…ということをやったのではないかっていうことを想像しましたよ。だって、前にそういう話を聞いたものですから。それは記者が定年退職しちゃってね。それで本当になんか友達同士で話し合っていてそういう話していて、「なるほど、皆さん裏道をつかっているんだな」と、想像だけど、そう思いましたよ、本当にそれは絶対ないってことだったら分かりました。

質問者 B

いくつかありまして、まず廃止が令和6年3月の末ってことですけども、これはもう決定なののでしょうか？勉強不足なのですが、回復期病院とか急性期病院の定義を教えてくださいたいと思います。東松戸病院っていうところが、お年寄りにとって非常に通いやすいってことですけども、今後東松戸病院がなくなった時に、市内に代替病院として、どの辺のところはどういう病院があるのかって

いう計画があるのかどうのことも知りたいところです。それからご近所さんで、今までは簡単に行けていた距離がどの程度遠くなるのかによっては、例えば交通の便ですね。輸送バスを出していただけるのか、そういった計画があるのかっていうところもちょっと教えていただきたいなど。それから、先ほど売却の話がありましたけれども、売却するにあたって売却先ですね。なんかその医療に向けての建物とか、そういった施設とか、そういったことが具体的にあるのか。それともそういった先に関わらず売ってしまうのか、そういったところもちょっと教えていただきたいなと思います。あと1ページ目の松戸市の方針の(2)の説明のところに、新規参入を促すとか、あと誘致という言葉も出てきたと思うのですが、新規参入というのは、市で回復病院が少ないから、そういうところを増やしていこうという意味だったのか、その辺をご説明いただければと思います。

地域医療課長

各医療機能について、ご説明させていただきます。市のホームページに病院運営審議会の全文版が掲載されておりますので、後ほどそちらの方も見ていただければと思います。まず高度急性期は、病気や怪我や症状が急激に現れた患者に対して、状態の早期安定化に向け、診療密度が特に高い医療を提供する機能のことを指します。次に急性期は、病気や怪我・症状が急激に現れた患者に対し、状態の早期安定化に向けた医療を提供する機能を急性期と言います。次に回復期、急性期を経過した患者への自宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能のことを指します。最後に慢性期、症状は比較的安定しているが、再発の予防や体力の維持のため長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能でございます。

質問者 B

すいません。定義って私言ったのですけども、東松戸病院って、非常に慢性期とか回復期の方が入りやすいってことですかけれども、なんかその辺で他の病院との違いってあるのですか。

東) 総務課長

入りやすいということは特にはありません。ただ、今説明があったように機能分

化が進んでいます。機能分化とは何かというと、例えば今までは一つの病院に、脳梗塞とか心筋梗塞とかで入院すると、その病院にずっと居られました。けれども、やはり医療制度が改正されてきて、医療が分解されてきたのです。高度急性期、急性期、慢性期、回復期というふうに、病棟ごとにどこの使命を果たしていくかっていうのが病院に課されました。そこで、東松戸病院に関しては回復期と慢性期があるのですけれども、回復期でもいろいろな病棟があります。その中で東については「一般病棟・回復期リハビリテーション、地域包括」この三つの病床がありますので、そこが他の病院よりも種類が多いので、入りやすい・選びやすいというのはあるのかもしれませんが。特にそこに関してうちだからこういう基準で特にとというのは、それは他の病院と変わらないと思います。

病院政策課長

東松戸病院の跡地を売却した場合に、これに関して医療機関を誘致するとか、そのような条件を作るのかという質問だったと思います。売却にあたって、そういった条件面をつけるかどうか、それは今後検討させていただきたいと思っておりますが、基本として土地と建物一緒に売却したいと思っております。医療機関に来てはいけないとか、拒むということはありませんので、そういった条件もこれから検討させていただこうと思っております。

交通の便、今病院事業では総合医療センターに1,060人ぐらい一日に外来の患者がおります。やはり、公共交通機関が非常に不便ということで、今は八柱からシャトルバスを出させていただいています。要望はすごく多く来ております。いろんな地区、先ほど申し上げましたようにパートナー講座に出向くと必ず要望が出ます。矢切からも出してほしい、六実からも出してほしい、小金からも出してほしい、いたる所から出してほしいと要望がきます。全部にお答えすることはとても無理ですので、まず一番交通結節点として効果が高いであろうと見込まれる八柱駅からシャトルバスを運行させていただきました。そしてコロナの影響で密にならないようにということで、2年前に増便をさせていただきまして、1日あたり25往復出させていただいていますが、今後、まず皆さん八柱の方に出向いていただければ、そこから総合医療センターの方に向かえると、そのように私共思っております。

質問者 B

基本的に、今まで東松戸病院いらっしゃった方は、総合医療センターへ来てくださいねっていうそういう方針があるのですか。それとも民間の病院がこれだけ増えていますということでしたけど、近くに慢性期・急性期の病院もありますよというのであれば、教えていただきたい。

病院政策課長

今まで東松戸病院にかかっていた患者さんを総合医療センターの方で見るというものではありません。やはり総合医療センターは急性期ですので、回復期以降の医療を診るという病院ではないので、東松戸病院の代替というか、周辺の病院で診ていただくという形になるかと思っております。今のところ市内では回復期以降の医療機関ってというのは病床数で見ると、回復期で 542 床。そして慢性期で 491 床。最近牧の原病院が 100 床増床されておりますので、そういった他の医療機関で診ていただく形になるかと思っております。例を挙げますと、まず回復期の病院ですと、旭神経内科リハビリテーション病院、五香病院、松戸リハビリテーション病院こういったところが回復期の病院になってまいります。そして慢性期になると常盤平中央病院とか東葛クリニック病院、小板橋病院、有床診療所になりますけども東葛クリニック松戸診療所、大倉記念病院、島村トータルケアクリニック。こちら 19 床の有床診療所になります。そしてあと先ほど申し上げた、松戸牧の原病院。こういったところは東松戸病院とほぼ同じような医療を提供していると伺っております。今のところ千葉西総合病院が、こちら 60 床ぐらい回復期で予定していると、そういうような話を聞いております。

質問者 B

ありがとうございます。今まで東松戸病院に入られた方で、東松戸病院が無くなるということで、今教えていただいたところであったり、外来だったり、そういったところにフォローしていただければありがたいなと思います。

質問者 B

廃止するのは決定ですか？

審議監

現時点では決定ではございません。市の方針といたしましては、審議いただきたいということでございます。今後当然のことながら設置条例の改正というのもございますので、それをもちまして、決定ということになると思います。

質問者 C

先ほど報告したというお話でしたが、今日の町会のチラシの中に市議会の議員さんのチラシが入ってしまして、新聞報道で初めて知った議員がほとんどだと書いてありました。こういう大事な話がぽっと出てきて、市役所の移転についても、ぽっと出てきたような形で報道されているので、本当に議会で討論していただいたのことが一つと、今慢性期・回復期ってこの近くの病院いろいろ教えていただきましたが、みんな東部地区ではないのですね。私の父は梨香苑ができた当初からショートステイですごくお世話になりました。本当に何が安心かって言うと病院の先生がすぐ来てくださる。ですが先ほど●●病院というお話ありましたが、私の母が認知症だったので、拘束されたまま何もしてもらえなくて、家族で無理やりなんとか退院してきました。お話聞いて市長さんがここに医療センターを移転するってことを反対し当選して以降、廃止っていう話が出て先ほども東松戸病院をなくすってことをちょっと止めたって話を聞きましたが、この老朽化した病院を直すということで、結局何も手を付けてこなかったってことはもう東部地区に手厚い感じがもうないというか。ここ若い人たちがすごく多いので、高齢者がどんどん減って行って患者さん減っているのかな、とも思いますが、やはりこれから自分ももうすぐ70代になって高齢になった時にやはり地域に安心して入れるところを残しておいていただきたい、東部地区にそういうところをちゃんと作っておいていただきたいなっていう気持ちがあるので、まず議会に対してちゃんと検討されたのかなというところをお聞きしたいと思います。

審議監

先ほどお話ししましたように、議会の方とは今協議をさせていただいております。その新聞に出てしまった時に議会の方と協議を進めるということで、ご説明をさせていただく、そう思った矢先に新聞に出てしまったというところでござい

ますので、現在、進行中ということになります。議論の方はさせていただいてるところでございます。

質問者 D

閉鎖には反対でございます。それで伺いたいのですが、近くの団地の、高塚団地の、私 45 年近く今住んでおりますけれども。ですから東松戸病院には、当初からお世話になっておりました。それで主人も一緒に通っていますから、それで、団地はですね、見ていますと定期的に、外壁工事をやっていたんですけども、何十年も見ていますけど、東松戸病院は通院している間、1 回も足場を組んでいるとか、そういう修繕を見たことないんですよ。ですから老朽化した写真を見ていたら、国から購入した以降ですね、修善費というのを計上してどのぐらいの時期で何回やっていたのですか。それ資料ありますか。それと修繕して今故障しちゃったものですけども、どのぐらい経っていて、何をやっていたのかなという、そういう印象がありました。ですから最後のこの近年の最後の修繕はいつやりましたか？大規模な修繕なんて見たことなかったです。もう毎年毎年思っていました。主人も入院したことがあります。病室はお世辞にも綺麗だと思いませんでした。主人も最後ガンになってしまったので、市立病院もひどかったので、千葉西病院に入院しました。市役所が今度新しく西口に移転するって計画があるみたいですけども、私としてはその計画がどの程度のお金を充てるのかわからないですが、その一部でいいですから、少しでも東松戸病院の改築の方に回していただきたい。土地が広いと思うので、建て直すというよりも、小規模でもいいから建て直していただきたいと思います。

東) 総務課長

東松戸病院の修繕についてお答えいたします。大規模な修繕は、ほとんどしたことがなく、平成 24 年の先ほどお話した耐震補強、これはかなり大掛かりな工事でしたが、それだけです。これについては、耐震が問題になりましたのでやらせていただきました。修繕費につきましては、毎年大体 3000 万から 4000 万程度で計上はさせていただいております。この費用に関しては、先ほどお話したように要はカビ、雨漏りとか、そういう補修ですね。抜本的な大型な工事じゃなくて、その都度発生すれば業者に対応していただくという形で行っております。あと、大

きな工事をした場合にしばらく病床を休床し、いろいろな制限をしなければいけないのですけれども、1番の大きな理由は東病院を今後どうしていくかっていう大きな方向性がはっきりしていなかったなので、大型工事をやるにはなかなか先に進めなかったという実情はございます。

質問者 D

ということは、最初からもういつかここは廃止するってことでやっていたってことでしょかね。

東) 総務課長

私も東松戸病院に平成7年に来たときに、国から払い下げを受けて、地域の人達もこれから東病院が開院でやっていくということでしたので、その時には閉院を考慮はしておりませんでした。

質問者 E

私来月で76歳になります。それでたまたまの松戸で働いていたものですから、知り合いの友人が結核だったので、一緒に見舞いに行ってくれってということで、22歳の秋、当時の高塚病院ですね、見舞いに行ったことがあります。それからもう54年経つんですよね。それで、私は今日説明会があるっていうので、私自身がすごく感じていたことをしっかりと一言もないといけないなと思って今日参加しました。それは、本郷谷市長さんは結局この東松戸病院の自ら滅亡するっていう…自滅を待っているのではないかってそういうふうに自分が思って、それでとんでもないということで、私は今日どうしても参加しなければと思っていました。それで昨日、今日のテレビでも、新型コロナの患者が北海道で増え始めているといっていますよね？第6波がまた来るのではないかということがもっぱら言われています。この間の東京オリンピックの時もその前後で、全国で一万人を超える感染者が出て、そして実際に医療現場がひっ迫して本当に大変な事態が起こり、コロナの患者を病院が受け入れられないということで自宅療養をやって、在宅死ということが大きな問題になりました。そして結局は感染症だから感染対策をしなければならぬわけですよ。だから手間暇もかかるしお金もかかる。だからどうしてもそれは公的な病院が、結局は東京でも千葉でも頑張ったわけですよ。

そういうことでは東松戸病院も頑張ったっていうふうに私は聞いています。それで、最後に私は松戸市の主権者は一人一人の市民だと思うのです。市長さんは選挙で選ばれたとしても何でもかんでもやられるものじゃないと思うのです。少なくとも自分がやるということは選挙の公約で堂々と市民に訴えて、そしてやっていくのだと思います。3年前の市長選挙の時、私は一生懸命取り組みましたが、本郷谷市長さんが東松戸病院と梨香苑を廃止するっていうようなことは一切聞いていない。これはとんでもないです。そして市の職員の方達もね、本郷谷市長さんの元で働いていますから、そういう自分の意思とは関係なく、市長が決めたことだから、やらざるを得ないというふうに思うんですね。少なくとも公約で言っていない。市長さんは今日も来てないですけど、とんでもないことというふうに思っています。もしそれで本当に本郷谷市長さんが思うのであれば、来年の6月に市長選挙がありますから、その時に同じことを言って市民の審判を受けないと、というふうに思っています。

質問者 F

病院の付帯施設の、梨香苑についてちょっとお伺いしたいです。市内では1,150床があると書いてあるのですが、梨香苑はこの内何床あるのですか。これが1つ。2つ目はですね。この介護施設の代替というものをどのように考えておられるのか、その計画はあるのかどうか。その2つをお伺いしたいと思います。

東) 総務課長

梨香苑の病床についてですけれども、こちら50床確保しています。

地域医療課長

市内の介護老人保健施設は、梨香苑を含め、今現在12施設、1,150床ございます。市内で言いますと、例えば、高塚新田に2施設、あと西馬橋幸町、金ヶ作、五香西には2つの施設。このような施設がございまして、市のホームページの方に市内の一覧施設ということで、掲載をさせていただいているので、ご確認いただければと思います。

質問者 G

市議会議員の〇〇です。お世話になります。今、伺ってしまして、いくつか確認をしなければいけないと思ったことがございました。主戦場は議会なのでここでは簡単にしたいと思います。まず今日市長がなぜ来ないのかっていうことに関して何人か言及されておりました。わたくしは先週の土曜日、梨香台小学校で開かれた時に午前午後両方出ましたが、市長は来られませんでした。市長の公務日誌を見ますと、先週の土曜日の午前中はどうやら鎌ヶ谷の市政施行五十周年記念式典に出られていたようなのです。本当かどうかわかりません。とりあえず公務日誌にはそう公表されています。ところが午後の説明会にも参加されませんでした。市長の公務日誌には午後は白紙でした。翌日の河原塚方面でやられていた説明会も午前午後の両方…いや午前中だけだったかな…1回だけですかね、出られてなかったですね、市長は。ところが市長の公務日誌を見ると公務は少なくとも公表されている限り白紙でした。つまり公務はないけど公務で出られないというような説明をされているのではないのかっていうふうに思っているのです。じゃあ今日、なんの公務があって、市長はこの場に来られないのか、ということを確認したいと思っています。次です。前段の方ですね。会話の中で平成29年7月、病院運営審議会を立ち上げた。その後7回ほど協議会で検討を進めてきて、一旦東松戸病院の問題は脇に置いて、まずは市立病院の方の話をしたけども、最近になって東松戸病院の話をまたし始めたと言われました。平成29年から今まで何年経っているんですかね。4年くらいですかね。この間に様々な病院の審議会を通して市は病院のあり方について議論をしてきたわけじゃないですか。4年間、その間に一度でもこういう形で市民の皆さんと、市民のための病院をどうしたらいいのだろうか、一度でもこういう形で市民の意見を聞いたりして、市政に反映しようといったことがあったのか、ということをお聞かせいただきたい。方針が内部で決まってから今ようやく市民にこうやって説明会をしていますけども、方針を決める前に市民と、こういった話し合いの場を持ったことがあるのか、ということをお聞かせいただきたいと思います。あと2つです。回復期、慢性期についてベッド数はどうなのですか、東松戸病院がなくなったら回復期、慢性期、市内にどういうところがあるのですかっていう質疑がさきほどやりとりでされました。それに対してなんとか病院では何床ですよ、とか、さっきの●●

病院の話も出ていましたが…病床数、言っていましたよね。何百床もありますみたいなの。じゃあ足りているのですか？という問題が出てくるのですよ。10床100床あったって1,000床必要だったら足りてないじゃないですか。県のこの地域の回復期、慢性期の目標ベッド数は何床であり、それに対してこの地域の実際のベッド数は何床であり、足りているのか足りてないのか、そういった全体的な話をしないと、ただ単に100床あります、300床ありますとかっていう話をしていてもあまり意味がないですね。県の保健医療計画で、2025年までに東葛北部医療圏域は…保険医療圏域は、何床…回復期と慢性期、目標何床でしたっけ。それに対して、松戸市を含む東葛北部医療圏域では回復期と慢性期のベッドは、現状何床あって、何床足りないのでしょうか。私の記憶では2,000床、3,000床近くベッドは足りないはずですよ。2,000床、3,000床ベッドが足りないのに、東松戸病院の百数十床をなくしてしまおうっていう話じゃないですか。他にいくつあるから大丈夫ですっていう話にならないんですよ。そこまでちゃんと説明しないと、市民の皆さんに一方的な説明になってしまうということですね。東葛北部医療圏域、地域保健医療計画について、今、回復期、慢性期は何床足りなのかという話を聞かせていただきたいと思います。最後です。これも別の方の答弁漏れですけど、市役所の今建て替えの話が上がっております。その中で先ほどどなたかおっしゃっていましたが、市役所の移転の費用にあんまりお金をかけずに、一部でもいいからお金を回して東松戸病院建て直せばいいじゃないか…どなたかおっしゃってました。まさに松戸市議会でも今後議論される…市役所建て替えの問題なんか議論されていますが、こうしたことの検討は、庁内担当課を越えて余地がないのかっていうことをお聞かせください。お願いします。4つです。

部長

市長の公務の詳細については、私どもも秘書担当からは知らされておられません。このような説明会を開催します、という日程はお知らせをしておきまして、その中で、市長、副市長、そして私とですね、それぞれの役割分担と申しますか、5回こういう説明会の開催、今日でこの午前中が4回目になりますけれども、どこに出てもどこに出ないということになりますとその地域的な不公平と関わってしまうこともありますし、この住民説明会については部長と局長に任せるという話もご

ございましたので、私の方でやらせていただいているというのが実情でございます。

質問者 G

ということは、確認はできてないのですね。本当に公務なのかは分からないということですね。

部長

公務も含めまして、調整がとれないので頼むと言われております。

質問者 G

なかなか納得できないと思いますけどね。はい、とりあえずそういう答えということ。

部長

それからこの4年間ですね、一度でも…という話でしたけれども、先ほど説明いたしましたように、今回はこの病院事業再編計画案ができましたのが今年の春の終わりと言いますか、夏の前と言いますか、そういう時期でございましたので、それから議会の方々も含めまして説明をしてきた中で、なるべく早い時期に住民の皆様とも話をしたいということで設けさせていただいたのが今回のこの5回の説明会になります。

質問者 G

要は住民の声をやり取りもせずにとりあえず案を作ってしまったっていうことですよね。本来なら住民の声を聞きながらどうするかっていうふうにして案を練り上げていくっていうことがあるべきだと思うのですが、案を内部的に作りあげてしまってから初めて住民とやり取りをしたっていうことですね。

部長

東松戸病院につきましては、その施設の老朽化ですとか、あるいは設備の劣化といった問題を、今後約2年半後の廃止に向けた今回の計画案になっておりますけれど、それ以降そう遠くない将来に、もう使用することができないという実情が

ございます。やはり安全に安心してお使いいただくためには、施設に相当な手を入れなければ…もちろん建て替えも含めまして、その建て替の費用というのはおおよそ 30 億から 50 億ぐらいかかると見込んでいるわけでございます。そういった財政負担を出す時に、これは行政の常に考えることですが、民間でお願いできる仕事については民間に極力お願いしていく、公で担わなければならない点については公で担っていく、ということの中では、三次救急を含めた政策医療を総合医療センターで公的な医療というものを維持している。しかしながら回復期、慢性期というのは、民間病院にお願いできる機能でありますから、そちらの方が国の方からもより多くの支出をしていただけるという制度になっておりますし、そういったことで役割分担をお願いしたいというのが今回の計画でございます。

質問者 G

続けて、慢性期と回復期のベッド数が足りているのか？という全体像に対する回答をお願いします。

地域医療課長

地域医療提供体制につきまして、千葉県地域保健医療保健計画に定める東葛北部保健医療圏を地域単位として、体制を確保することとされております。その計画につきましては、地域医療構想において、2025 年、令和 7 年度の必要病床数を推定し、病床数の整理を図っており、回復期病床数につきましては、必要病床数 3,647 床に対し既存病床数が現在 1,119 床。2,528 床不足となっております。慢性期病床につきましては、必要病床数 2,439 床に対して既存病床数が 1,903 床と 536 床の不足が出ております。近年は多少ですが、増加傾向にあるということで確認されております。

質問者 G

ということは、回復期と慢性期は 2025 年までに…あと 3 年半ぐらいですか…までの間に、3,000 ベッドを増やさないといけない。それくらい足りていないわけじゃないですか。そこで、回復期と慢性期のベッド数を東松戸病院で 160 床をなくしちゃうわけですね。3,000 足りないのに 160 なくす、意味が分からないようなこ

とを今お話になっているのだけでも、そのあたりのことを、全体像をお話しないままに、市内に回復期ベッドがこれくらいありますとか、慢性期ベッドがこれくらいありますっていうだけの説明では、市民へのミスリードになりかねないなというふうに思っております。先ほど部長さんがお話したように、じゃあ市立総合医療センターのなかなか民間が…難しいといったか忘れてしまいましたけれど、急性期のベッドも医療も市立総合医療センターでやっているのです、とおっしゃっていましたが、慢性期と回復期のベッドは足りてないのですけども、急性期のベッドは足りているじゃないですか。目標はオーバーしていますよね。東葛北部医療圏は。そうですね、課長。急性期ベッドは目標オーバーしていますよね。

地域医療課長

急性期は、はい。

質問者 G

ですよね。つまり市立病院は民間でもやっている急性期医療、目標をオーバーしている急性期医療を市立総合医療センターはやっている。そして、足りてない…圧倒的に足りていない回復期、慢性期を担っている東松戸病院を潰してしまおうっていうのは、もう足りている方を残して、足りない方をなくすっていう…これどうやって市民の皆さんに納得いただけるのかなっていうのは非常に私たちの苦慮するところです。じゃ最後ですね、市役所移転問題にそのお金を一部でも回すことができないのかっていうことについての回答をお願いします。

審議監

申し訳ございません。その件につきましてはちょっとお答えしかねます。

質問者 G

ありがとうございます。なぜなら今日の前にいらっしゃる方々、皆さん病院関係、健康福祉関係の方々に市役所の建て替え、街づくりの関係の担当者の方でいらっしゃらないのでお答えできないのは当然です。だから先ほど聞かれても答えなかったのですよね。聞かれて今のようにお答えできないと答えてくれば、

私はそれでも誠意はあったかなと思いますけど、ただ1つ言えることはこの場に市長がいたら、答えるべきことですよ。市長がいたら答えないとダメなんです。そこに市長がいないということで今皆さんがお答えできない。管轄外ですからね。無責任なことは言えないっていうことだと思いますよ。ただ一つだけ最後に申し上げますが、東松戸病院を建て替るのに約50億かかるという話がありました。50億、なかなか大変なお金です。ところが本郷谷市長は、さきほどどなたか選挙の話をしていましたけども、前回の選挙の…最初の当選した時ですね。市立病院現地建て替え64億円でできるって言っていたんですよ。それで当選しているのです。東松戸駅前に来ると250数億円かかる。250数億をかけますか、それとも現地で64億円ですかって言って、現地64億で当選したのですよ。ところが蓋を開けてみたら、千駄堀に280億も90億もかけて建てたわけですよ。もう東松戸病院、東松戸駅前に来るよりも高くなっちゃった。290億、64億が290億です。差し引いたら230億ぐらいパーになってしまったんです。東松戸病院4回も建て替えられるほど、市立総合医療センターにお金使ったんですよ。それで東松戸病院の立て替のお金がありませんとか、大規模改修この何十年間も一度もやってないでね、だから老朽化、当たり前じゃないですか。それでご理解ください潰しちゃいます、誰が理解できるのか、しかも足りない回復期と慢性期病床をなくして…急性期病床は、市立総合医療センターは残します。余っているのに。こういった全体像をもっと皆さんに分かりやすく説明した上で、じゃあ病院をどうしようかって市民と一緒に考えていくっていう4年間努力もない。方針だけ一方的に決めてそれをご理解いただくために説明会何回重ねたって結論を押し付けるだけじゃないですか。こういったことをやっぱりきちんと市民とキャッチボールしながらやっていく必要があるのではないかどうかっていうのが議会で我々が申し上げていることなんです。そのあたりをぜひ市民の皆さんも分かっていたら、一緒にきちんと考えていけるような説明会、あと1回、そういった説明会になり、今後ぜひ市長も来ていただいて2回目を開催していただくことを、私も一議員でありますけど、求めたいと思います。以上です。ありがとうございました。

地域医療課長

本日は貴重なご意見と承り、本当にありがとうございます。以上もちまして説明会を閉会させていただきます。